

令和4年度 経験の浅い教員の専門性向上に係る支援体制等構築研究事業
成果報告書

実施機関名（愛媛県教育委員会）

1. 問題意識・提案背景

本県の公立学校義務教育段階の児童生徒数が年々減少している中、特別支援学校、特別支援学級に在籍する児童生徒数及び通級による指導を受ける児童生徒数は増加傾向にあり、これらの児童生徒は、全体の6.2%に当たる（令和4年5月1日現在）。また、公立の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小・中学校、高等学校、中等教育学校の通常の学級に在籍している幼児児童生徒（通級による指導を受ける児童生徒を含む）の内、個別の指導計画を作成している又は作成を必要とする幼児児童生徒数は、県下で5,000名を超えており、1校当たり10.3名となっている（令和4年5月1日現在）。県内の全ての学校において特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍し得る可能性があり、これらの幼児児童生徒に関わる全ての教員が、特別支援教育に関する基本的な知識及び技能を身に付けておく必要があると考える。

また、県下の公立学校で、約1,000名の教員が特別支援学級及び通級による指導の担任・担当者をしているが、その内の30.2%が経験年数0～2年となっている。長年、県下の特別支援教育を牽引し、地域や学校での特別支援教育の中核を担ってきたベテラン教員の退職や、特別支援学級及び通級による指導実施校の増加に伴う、経験の浅い担任・担当者の登用で、特別支援教育の専門性の継承と深化が課題となっている。

そのため、県教育委員会では、県総合教育センターと連携して、管理職や特別支援教育担当教員の資質向上を図るため、職務別・課題別研修を体系的に実施しているほか、初任者研修等の法定研修においても、全対象教員が特別支援教育に関する講義を受講するようプログラムしている。しかし、悉皆研修以外の希望による研修の受講は、個々の意識によるところが大きい。また、小・中学校教員に対しては、多くの市町教育委員会が独自で研修を設けているが、予算的・人的要因等もあり研修状況及びその内容については市町により差がある。

この他、県教育委員会では、地域や学校での特別支援教育体制の整備・充実を図るため、これまでの個別の教育支援計画等の様式や手続きを「切れ目ない支援」という観点から整理し、新たに「えひめ特別支援パッケージ」として開発したところであり、県内の全ての教員が、個別の教育支援計画等を作成・活用し、指導・支援の充実を図る力を身に付けることが望まれる。

以上のことから、本県においても、教員の特別支援教育に関する専門性の向上が喫緊の課題であり、市町教育委員会や各学校における研修等の体制に差があることを踏まえると、県として広域的な立場で支援体制の構築を図っていく必要がある。

2. 目的・目標

障害により特別な支援を必要とする幼児児童生徒は、全ての学校・学級に在籍する可能性があることから、全ての教員が特別支援教育についての基礎的な知識及び技能を有する必要があるため、これらの教員を支援するための広域的な体制構築に向けた取組を行う。

- 通常の学級での特別な支援を必要とする幼児児童生徒への指導・支援の充実
- 各学校の特別支援教育の専門性の担保と、地域の中核としての人材育成
- 特別支援学級、通級による指導、通常の学級それぞれにおいて、指導・支援を行う教員を支えるシステムの構築

3. 実施体制

(1) 運営協議会

名称を「特別支援教育専門性向上検討会議」とし、学識経験者、医療・福祉関係者等11名で構成する。具体的な事業計画の策定や評価、研究結果の分析等を行うとともに、特別支援教育に関する校内研修プログラム集及び研修プランの検証及び評価を行う。

<構成メンバー>

No.	所属・職名		備考
1	学識経験者	愛媛大学大学院教育学研究科教授	特別支援教育士SV
2		臨床心理士	元愛媛県特別支援教育専門家チーム委員
3	学校関係者	愛媛県特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会会長	
4		愛媛県特別支援学校長会会長	
5	医療・福祉関係者	医師（愛媛大学名誉教授）	教育医学
6		愛媛県発達障がい者支援センター副センター長	
7	行政関係者	愛媛県教育委員会特別支援教育課長	
8		愛媛県総合教育センター特別支援教育室長	
9		新居浜市教育委員会発達支援課主任専門員	
10	事業関係者	特別支援教育専門性向上アドバイザー	
11			

<開催実績>

回	開催日	会議内容
1	令和4年7月 ※Web会議方式	○令和4年度事業概要説明 ○協議 ・特別支援地域リーダーの活用推進について ・愛媛大学との連携について
2	令和5年2月 ※Web会議方式	○令和4年度事業報告説明 ○協議 ・教員の専門性向上のための研修等について ・経験の浅い教員への指導・助言などのサポートについて ・愛媛大学との連携について

(2) 連携した大学

国立大学法人 愛媛大学 教育学部

(3) 専門家の活用

ア. 専門性（特別支援教育など）に関する経歴・所有資格等

特別支援学校退職教員2名を、「特別支援教育専門性向上アドバイザー」（以下、「アドバイザー」という。）として採用する。いずれも発達障害等障害のある子供の教育に関する高い知見を有しており、これまでも地域や学校において指導的立場にあり、特別支援学校はもとより、全ての学校種に対応できる。

No.	略歴等
1	・元特別支援学校教頭 ・愛媛県特別支援教育巡回相談員、愛媛県障害児就学指導委員会委員、市町教育支援委員会委員等
2	・元特別支援学校教諭

イ. 配置状況、活動内容

(7) 配置状況

県の中心部に位置する県立特別支援学校内に、アドバイザー2名を配置し、当該校を拠点として活動する。(月当たり11日×7時間45分)

(イ) 活動内容

- ・ 各市町教育委員会や学校等からの要請に応じて、特別支援教育の知見を高めるための研修支援や相談支援を行う。
- ・ 経験の浅い教員を対象とした既存研修等の内容の見直しや、それらの研修サポート(研修講師、指導助言等)を行う。
- ・ 特別支援地域リーダー研究協議会及び、特別支援地域リーダーブロック会議を運営し、協議を通して各地域の中核となって研修支援ができる特別支援地域リーダー(以下、「地域リーダー」という。)を養成する。
- ・ 愛媛大学教育学部の特別支援教育に関する講義及びシラバス案の作成・改善に参画する。

4. 取組概要・成果(取組全体の概要図は別途参照)

(1) 経験の浅い教員への指導助言などのサポート体制の構築

ア. 地域リーダーの指名

各地域の中核となって、地域の実態に応じた指導助言や研修サポートをする地域リーダーを指名した。地域リーダーの構成は、昨年度に引き続き、県内全ての市町から1名以上の小・中学校教員21名、通級による指導を実施している高等学校教員3名、各地区の特別支援学校教員3名の計27名とした。(図1 支援体制図)

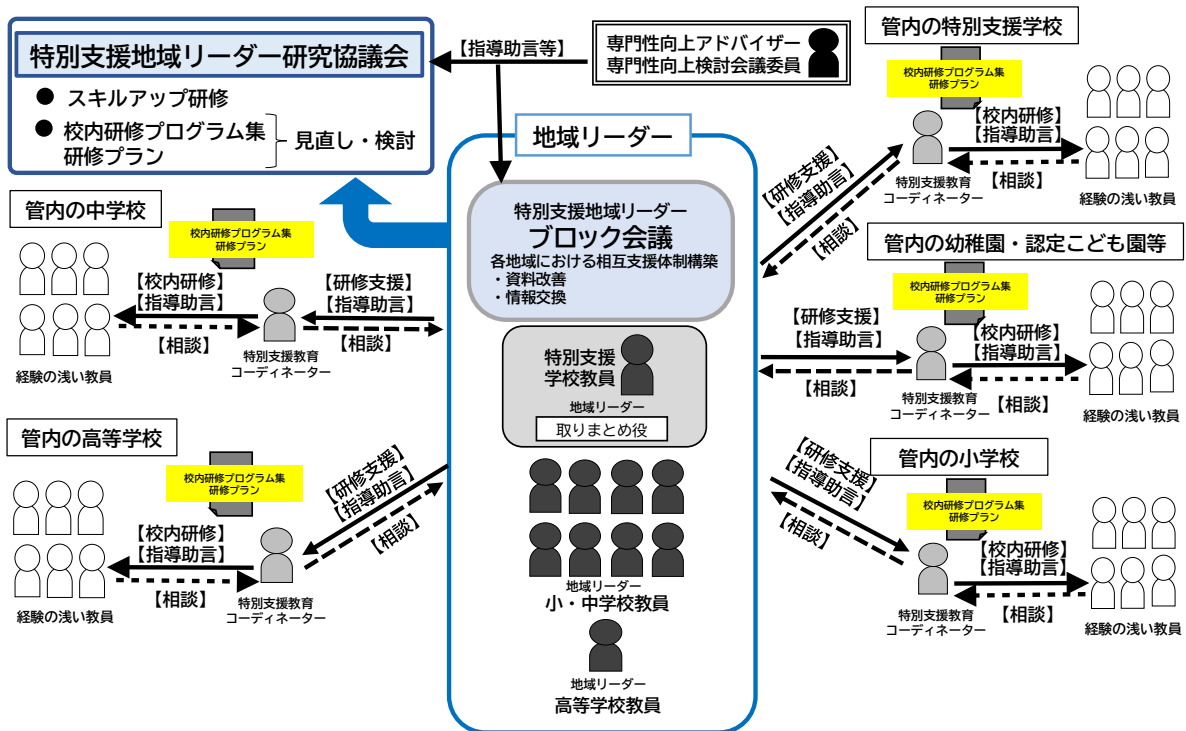


図1 支援体制図

イ. 「特別支援地域リーダー研究協議会」の開催

地域リーダー全体の集合型研修として、「特別支援地域リーダー研究協議会」を年2回開催した。本協議会では、特別支援教育専門性向上検討会議委員等の医療や福祉の専門家を招へいたスキルアップ研修や協議を実施した。研修終了後、地域リーダーに実施したアンケートからは、どのスキルアップ研修も、自分の専門性向上のために役に立ったという意見があった。特に、福祉関係の話が聞けたことに対して、自分の視野を広げることができて良かったという意見が多かった。また、研修を通して、地域リーダーとしての役割を自覚したという意見もあり、地域リーダーとしての専門性の向上を図ることができたと思われる。

回	開催期日	内 容
1	令和4年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業説明（令和2・3年度の取組状況を含む） ・協議「研修プランについて」 ・スキルアップ研修「研修支援の在り方」 講師 愛媛県総合教育センター 特別支援教育室長 （特別支援教育専門性向上検討会議委員）
2	令和5年1月 ※Web 会議方式	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修「発達障がい者支援センターの取組」 講師 愛媛県発達障がい者支援センター 副センター長 （特別支援教育専門性向上検討会議委員） ・協議「地域リーダーとしての今後の展望について」

ウ. 「特別支援地域リーダーブロック会議」の開催

「特別支援地域リーダーブロック会議」は、地域リーダーから管内別に協議ができる場を設けてほしいという声を受け、今年度初めて、Web 会議方式で3回開催した。この会議では、校内研修プログラム集及び研修プランが校内研修の様々なニーズに対応できる資料として適切なものとなっているかどうか協議を重ね、適宜資料改善に取り組んだ。また、全ての地域リーダーが実際に使用した研修プログラムを用いて、具体的な実践について意見交換を行った。地域リーダーからは、研修プランの作成に当たり、校内研修プログラム集を確認したり、地域リーダー同士で協議したりしたことで、自分の専門性の向上が図られたという意見が多く、地域リーダーのスキルアップや地域リーダー同士の連携・協力体制の構築につながったと考えている。

回	開催期日	内 容
1	令和4年7月 ※管内別開催(Web 会議方式)	・協議「研修プランの作成について」
2	令和4年9・10月 ※管内別開催(Web 会議方式)	<ul style="list-style-type: none"> ・協議「研修プランについて」 ・協議「地域リーダーの活用実施について」
3	令和4年11・12月 ※管内別開催(Web 会議方式)	<ul style="list-style-type: none"> ・協議「校内研修プログラム集及び研修プランについて」 ・情報交換「地域リーダーの活用実施について」

エ. 校内研修プログラム集及び研修プランの活用

校内研修プログラム集については、昨年度71本のプログラムを掲載しており、今年度は、各プログラムの内容の修正等を行った。

また、通常の学級担任等経験の浅い教員の研修機会拡大のため、研修テーマに応じて複数の研修プログラムを組み合わせた研修プランの作成に取り組んだ。令和4年度は、令和3年度に作成した研修プランに加え、新たな研修テーマを検討し、「特別支援地域リーダーブロック会議」で協議を重ね、2年間で計15プランを完成させた。

<研修プラン一覧>

障害の特性の理解と教育的対応について	
プラン1	障害の特性の理解と教育的対応について（1）
プラン2	障害の特性の理解と教育的対応について（2）
プラン3	個に応じた学習指導の進め方・個別の課題を抱える子供への指導について（初任者向け）

プラン4	障害の特性に応じたアプローチについて（自閉症）
各校の実態に応じた支援体制について	
プラン5	各校の実態に応じた支援体制について（1）
プラン6	各校の実態に応じた支援体制について（2）
プラン7	通常の学級における学びの支援について
プラン8	通常の学級における集団への支援について
プラン9	通級による指導と通常の学級との連携について
切れ目ない支援体制について	
プラン10	特性のある子供の切れ目ない支援体制について
プラン11	切れ目ない支援体制について～外部サイトへのアクセス～
個別の教育支援計画、個別の指導計画作成について	
プラン12	個別の教育支援計画、個別の指導計画作成について
プラン13	通常の学級における合理的配慮について
就学・進学について	
プラン14	就学・進学について(小・中学校教員向け)
プラン15	就学・進学について(高等学校教員向け)

さらに、昨年度末に配布した校内研修プログラム集の活用状況や活用の見込について、県立高校の特別支援教育コーディネーターに調査を行ったところ、ほとんどの教員が「校内で活用できるプログラムがある」と回答しつつも、この調査まで校内研修プログラム集を活用したことがなかった教員が多数いたことが判明した。そこで、校内研修プログラム集及び研修プランの活用方法を紹介するリーフレットを作成した。

リーフレット作成にあたり、「ぜひ知ってほしいプログラム」、学年会等の特定のグループで短時間にピンポイントで使いやすい「ミニ研修」向けプログラム等を地域リーダーが選定し、紹介することとした。

完成した校内研修プログラム集及び研修プラン、リーフレットは、教員用 Web サイト「愛媛学びの森」に掲載した外、県下の学校・園に配布し、校内研修等における積極的な活用を推進していく。

<教員用 Web サイト「愛媛学びの森」>

特別支援教育校内研修プログラム集

特別支援教育校内研修プログラム集
<外部サイトへのアクセスの仕方>

- ① 愛媛県教育委員会 特別支援教育課.pdf
- ② 愛媛県総合教育センター.pdf
- ③ 文部科学省.pdf
- ④ 【NISE】国立特別支援教育総合研究所.pdf
- ⑤ 【特総研】発達障害教育推進センター.pdf
- ⑥ 【特総研】インクルDB.pdf
- ⑦ 【特総研】支援教材ポータル.pdf
- ⑧ 国立障害者リハビリテーションセンター.pdf
- ⑨ 【NITS】教職員支援機構.pdf

< 1 理論 >

区 分	研修内容	講習名・資料名簿
1	障がいの基礎知識	
	① 特性の理解	1-1-①01障害の形態等に応じた教育的対応 (視覚障害).pptx 1-1-①01障害の形態等に応じた教育的対応 (聴覚障害).pdf 1-1-①02障害の形態等に応じた教育的対応 (聴覚障害).pptx 1-1-①02障害の形態等に応じた教育的対応 (聴覚障害).pdf 1-1-①03障害の形態等に応じた教育的対応 (知的障害).pptx 1-1-①03障害の形態等に応じた教育的対応 (知的障害).pdf 1-1-①04障害の形態等に応じた教育的対応 (肢体不自由).pptx 1-1-①04障害の形態等に応じた教育的対応 (肢体不自由).pdf 1-1-①05障害の形態等に応じた教育的対応 (病弱・身体虚弱).pptx 1-1-①05障害の形態等に応じた教育的対応 (病弱・身体虚弱).pdf 1-1-①06障害の形態等に応じた教育的対応 (言語障害).pptx 1-1-①06障害の形態等に応じた教育的対応 (言語障害).pdf 1-1-①07障害の形態等に応じた教育的対応 (自閉症).pptx 1-1-①07障害の形態等に応じた教育的対応 (自閉症).pdf 1-1-①08障害の形態等に応じた教育的対応 (情緒障害).pptx 1-1-①08障害の形態等に応じた教育的対応 (情緒障害).pdf 1-1-①09障害の形態等に応じた教育的対応 (学習障害).pptx 1-1-①09障害の形態等に応じた教育的対応 (学習障害).pdf 1-1-①10障害の形態等に応じた教育的対応 (注意欠陥多動性障害).pptx 1-1-①10障害の形態等に応じた教育的対応 (注意欠陥多動性障害).pdf 1-1-①11発達障害って、なんだろう？.pptx 1-1-①11発達障害って、なんだろう？.pdf

(2) 教員の専門性向上のための研修等の機会の充実

ア. アドバイザーによる広域的な研修等支援

アドバイザーは、各市町教育委員会や学校等からの問合せや相談内容を精査し、事例ごとに対応を検討しながら指導助言、研修支援を行った。研修依頼のあった市町教育委員会や学校等に対しては、それぞれのニーズに応じた研修を実施した。また、アドバイザーは、相談内容に応じて、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターへの相談、総合教育センターの出前講座等、各種各方面の関係機関の紹介なども含めて、本事業終了後を見据えた継続可能な支援となるような体制構築に努めた。加えて、地域リーダーがより充実した研修支援を実施できるよう、OJTの役割も務めた。

<派遣実績>

回	派遣先	内容
1	A 小学校	特別支援学級（自閉症・情緒障害）の児童の支援に対する指導助言
2	B 小学校	通常の学級に在籍する児童（ADHD）の支援に対する指導助言
3	C 高等学校	教職員研修における講義「特別支援教育の理解と支援」
4	D 教育委員会	特別支援教育担当教職員研修における講義「切れ目ない支援に向けて…」
5	E 小学校	特別支援学級（肢体不自由）の児童の支援に対する指導助言
6	F 教育委員会	幼稚園等の管理職等研修における講義「『連携』すること～特別支援教育の立場から～」
7	G 高等学校	生徒（自閉症スペクトラム）の支援に対する指導助言
8	H 教育委員会	特別支援教育担当教職員研修における講義「個別の教育支援計画等の目標設定と評価」
9	I 小学校	特別支援学級（知的障害）の研究授業（自立活動）での指導助言
10	J 教育委員会	学校生活支援員研修における講義「特別支援教育の理解と支援～事例から学ぶこと～」
11	K 教育委員会	行政職員等研修における講義「切れ目ない支援体制の在り方について」
12	L 教育委員会	教職員及び保護者等研修における講義「乳幼児期から成人へつながっていく連携の在り方について」
13	M 教育委員会	教職員及び保護者等研修における講義「発達障害の特性と支援の方法」

イ. 地域リーダーによる各地域における研修等支援

令和4年度からは、地域リーダーも各地域の市町教育委員会や学校等で研修支援を実施できるようにした。依頼を受けた地域リーダーは、研修依頼校と事前に連絡を取り合い、ニーズを確認した上で、校内研修プログラム集や研修プランを活用した研修を実施することができた。その結果、研修依頼校からは、「地域リーダーは身近な存在であり、気軽に相談がしやすい」との好評を得た。また、地域リーダーは、研修を実践することで、それらの有効性や、研修準備の時間短縮といった効果を感じ、今後も継続して活用できる体制を整備できた。

なお、各地域での研修支援に当たる地域リーダーは、適宜、アドバイザーから指導助言を受け、安心して研修支援に取り組めた。

<派遣実績>

回	派遣先	内容
1	N 中学校	教職員研修における講義「校内での通級指導教室活用等について」
2	O 小学校	教職員研修における講義「通常の学級における配慮を要する児童の支援について」
3	P 高等学校 Q 分校	教職員研修における講義「生徒の特性や実態に応じた生徒指導や学習指導等の事例について」
4	I 小学校	特別支援学級（知的障害）の研究授業（自立活動）での指導助言 ※アドバイザー同行
5	R 中学校	教職員研修における講義「個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成について」
6	S 高等学校	教職員研修における講義「合理的配慮の実施状況や発達障害のある生徒への支援方法、通級による指導の様子について」
7	T 小学校	教職員研修における講義「現在抱えている課題に対する対応について」

ウ. 既存研修の充実

アドバイザーは、既存研修について各地域や学校の実情に沿った研修となるよう、内容の見直し等、企画段階から助言や提案を行い、研修当日も専門性を生かした講義・演習及び指導助言を行った。新担任者やコーディネーター1年目等の経験の浅い教員にとって、アドバイザーの豊富な経験に基づいた指導は、今後の支援に役立つものになったと思われる。

また、新型コロナウイルス感染症の現況を鑑み、各研修について参集型を基本としながらも、状況に応じて、Web 会議方式によるライブ型やオンデマンド型での事前研修を組み合わせるなど、それぞれの利点を生かした研修方法を工夫しながら実施した。

令和4年度は、令和3年度に引き続き、特別支援学級や通級による指導に携わる経験の浅い教員を対象とした「特別支援教育新担任者基礎研修」及び「特別支援教育2年目強化研修」の受講者に対して、教員育成指標の特別支援教育実践力に関する質問紙調査を実施した。その中で、「特別支援教育2年目強化研修」の受講者について、新担任者基礎研修時の内容と比較したところ、新担任者基礎研修時のステージにかかわらず、それぞれのステージから着実に次のステージに移行していた。教員育成指標を使用して個々の目標達成状況を繰り返し確認することにより、自己の指導や支援を振り返ったり、より高度な段階の専門性を目指そうとしたりする意識付けとなった。

研修会名	アドバイザーによる指導内容
特別支援教育新担任者基礎研修 ※一部 Web 会議方式	講義・演習「児童・生徒への特別な支援及び障害理解について」
	講義・演習「自立活動について～指導例の作成～」
	協議・演習「教育課程の評価と改善」における指導助言
特別支援教育2年目強化研修 ※一部 Web 会議方式	協議・演習「個別の教育支援計画及び個別の指導計画、学習指導案の作成」における指導助言
特別支援教育コーディネーター研修会（新任コーディネーター）	講義「校内支援体制の在り方と特別支援教育コーディネーターの役割」
特別支援教育専門家チーム調査員等連絡協議会 ※Web 会議方式	協議「相談支援体制の課題について」における指導助言
高等学校における特別支援教育推進研修会	協議「特別な支援を必要とする生徒の理解と指導・支援の在り方」における指導助言
早期支援連携協議会	講義「適切な就学について」

(3) 現状に即した教員養成課程における教授法の検討

愛媛大学教育学部とは、アドバイザーをゲストティーチャーとして講義に派遣した。アドバイザーは、昨年度見直したシラバス案を使い、事前に授業担当者と授業の打合せを行った上で講義を行った。その結果、学生たちが「特別支援教育」に対する感じ方や考え方が少しずつ変化しており、大学からは特別支援学校教諭免許状の取得を目指す学生が増えたとの評価を得た。

愛媛大学からは、特別支援教育に関する研修内容や方法についての助言や研修講師としての派遣を受けた。

実施日	対象者	内 容
令和4年5月	教職大学院	科目「愛媛の教育改革」 講義「愛媛の教育改革（特別支援教育編）」
令和4年6月	教育学部 3回生	科目「一貫教育、連携教育概論」 講義「特別支援教育コーディネーターと特別支援学校のセンター的機能」
令和4年12月	教職大学院 1回生	科目「学校における支援体制」 講義「学校外の諸機関との連携の実際」
令和5年1月	教育学部 1回生	科目「特別支援教育の基礎・基本」 講義「特別支援教育推進体制」

愛媛大学教育学部では、学部1年次に「特別支援教育の基礎・基本（必修）」を開講し、発達障害や通常の学級において学習面・行動面に困難がある幼児児童生徒の理解と支援に関する基礎的な知識の習得を図っている。また、学部3年次には「一貫教育・連携教育概論（必修）」、学部4年次には「インクルーシブ教育実践論（選択）」を開講するなど、重層的に発達障害を含む多様で特別な教育的ニーズがある幼児児童生徒の支援に関する資質・能力の養成を図っている。（図2 特別支援教育に関するカリキュラムマップ（令和3年度入学者より））さらに、学部4年間の学びに加え、教職大学院での2年間の学びで学部卒業者の養成、現職教員の育成に努めている。

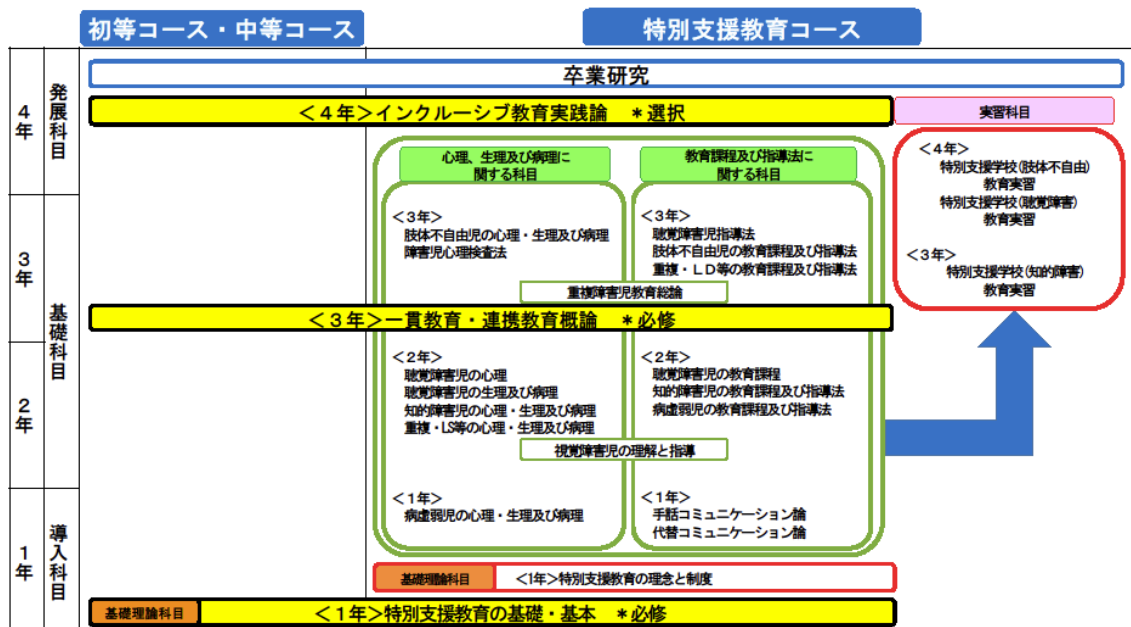


図2 特別支援教育に関するカリキュラムマップ（令和3年度入学者より）

5. 今後の課題と対応

今後は、各市町教育委員会や学校等が、本事業で作成した校内研修プログラム集や研修プランを活用しながら、特別支援教育に関する専門性向上に向けた研修の実践等に継続して取り組んでいくこととなる。リーフレット等を活用して校内研修プログラム集及び研修プランについて、積極的に周知するとともに、現場のニーズや、最新の動向等を確認しながら、必要に応じて、追加・修正するなど、改善を図っていく必要がある。

また、地域リーダーは、引き続き、各市町教育委員会や学校等の要請に応じて、特別支援教育の専門性向上に向けた研修支援を行うことができるよう、その仕組みを継続していくこととした。今後の継続のためには、新たな地域リーダーを指名するなどして、地域リーダーの層を厚くしていくことが課題である。

6. 問合せ先

組織名：愛媛県教育委員会事務局

担当部署：特別支援教育課